

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの  
更新プロジェクト

排出削減事業者名：大林産業株式会社

排出削減事業共同実施者名：株式会社F Tカーボン

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	大林産業株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	本社工場
住所	〒747-0344 山口県山口市徳地八坂 700 番地
排出削減事業共同実施者（J-クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	株式会社F Tカーボン
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト

### 2.2 排出削減事業の目的

A 重油ボイラ 3 基を木質バイオマスボイラ 1 基へ更新する。木質バイオマスを使用することによって、CO2 排出量を削減する。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO2 を実質的に排出しないものとみなされるため、現在使用している A 重油ボイラを木質バイオマスボイラに更新することで、CO2 排出量を大幅に削減する。

### 2.4 J-クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2010年5月1日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2015年10月1日 ～ 2018年4月30日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
004	空調設備の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
ベースラインエネルギー 使用量	木材乾燥量 (m3)	

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

排出削減事業の対象設備である乾燥設備は、木材を乾燥させるために稼働している。その稼働に影響する要因としては、木材乾燥量、稼働時間、外気温度などが考えられるが、乾燥量との相関が有為と考えられる。

したがって、ベースライン及び事業実施後のエネルギー使用量は、乾燥量に比例すると理解される。

#### 4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

木材乾燥用のバイオマスボイラ (空調設備) 及び暖房される木材乾燥庫。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場 合、) 変更理由
$\beta_{PJ}$	事業実施後木材乾燥量	m <sup>3</sup>	30,155.6199	乾燥機実績表	変更なし
$F_{fuel,PJ}$	事業実施後 A 重油使用量	L	235,360	請求書	変更なし
$HV_{fuel,BL}$ $HV_{fuel,PJ}$	A 重油の単位発熱量	GJ/L	0.0389	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし
$CF_{fuel,BL}$ $CF_{fuel,PJ}$	A 重油の単位発熱量あたりの 炭素排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0708	J-クレジット制度のデフォルト値	変更なし

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
235,360 (L)	0.0389(GJ/L)	0.0708 (tCO2/GJ)	
EM <sub>PJ</sub>			648.2 (t-CO2)

### 6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
112,000 (L)	0.0389(GJ/L)	0.0708 (tCO2/GJ)	
8,943.8829 (m3)			
30,155.6199 (m3)			
EM <sub>BL</sub>			1,040.0 (t-CO2)

### 6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
LE			0

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	1,040.0
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	648.2
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	391

## 7 省エネルギー量

本事業は、再生可能エネルギーを利用するプロジェクトのため、省エネルギー量はない。

## 8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2015年10月1日 ~ 2018年4月30日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス熱利用量	GJ	7,543 GJ	7,543 GJ	194.6 kL